

令和 5 年度 上 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	日光児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市日光町9丁目1番3号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,107,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,001.55㎡ ◇延床面積:370.16㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、事務室、 駐車場(日光コミュニティセンター駐車場と共有) ※日光コミュニティセンター、日光事務所との合築		

●利用状況

		R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	11,945	8,577	9,158	6,924	4,631
	移動児童館利用者数	321	297	215	148	81
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※9(4)	※9(4)	※7(3)	※6(4)	※3(2)
	開館日数(単位:日)	155	151	155	151	94

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画どおり実施しました。 開館時間を17:15までとし、17:15以降15分間を館内消毒・清掃時間としコロナ対策に努めました。 ②所長1名、職員2名の3名を配置しました。(うち保育士資格2人 児童厚生員3人) ③「おたより」の発行16カ所に配布しました。(小学校5校区、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校、コミュニティーセンター) 「ベビータイム通信」は来館された皆様、保健センター・幼稚園・保育園・コミュニティーセンターに配布しました。 ホームページはスマートフォンにも対応し、市民の皆様へのお知らせやブログも用いてタイムリーで分かりやすく配信しました。また、当岐阜市社会福祉事業団が管理している他の8施設のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。 気象警報発令時などの情報は、迅速にホームページにUPしました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また児童・保護者を対象にアンケートを年2回実施しました(上半期は1回) 苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応しました。 意見・アンケート調査結果は館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。 また、日頃から利用者とのコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りを心がけました。 ⑤仕様書・事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため、幼児室に口に入れた物を入れる箱を作りアルコール消毒を実施しました。消毒出来ないおもちゃ(本・木・紙の物)は殺菌庫を使い消毒を実施しました。また13時から閉館はしないで消毒時間を設け、おもちゃ・各部屋の消毒を実施しました。トイレの便座、洗面所、ドアノブ、自動ドア、水道の蛇口は1日3回アルコール消毒を実施しました。またコードレス噴射機を使い消毒を行いました。就労継続支援B型事業所清掃班による清掃を実施しました。業者による窓ふき・ワックスがけを行いました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、ペットボトル及び牛乳パックなどの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。絵本・文房具の寄付を頂ききれいにし、リサイクル活用をしました。 ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具点検、月2回のAED器具の機能確認、毎日の消毒、清掃を行い、遊具・玩具、設備、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。また日頃から職員が点検を行いました。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出しました。故障した玩具などはおもちゃ病院に修繕して頂きました。(上半期50個修繕して頂きました。)
危機管理法遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③、岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。個人情報記載された用紙は厳重に管理し、使用后シュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。消防訓練を1回実施(日光コミュニティセンターと合同で6月)しました。職員間で災害に対しての話しをし、利用者に安全に利用して頂けるよう確認を行いました。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和5年7月25日～令和5年8月22日 回答者数: 100人</p> <p><小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和5年7月25日～令和5年8月22日 回答者数: 100人(小学:1年15人、2年17人、3年8人、4年28人、5年11人、6年9人) (中学:1年2人、2年3人、3年2人)(高校:1年0人、2年0人、3年0人)無回答:5人</p>
	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【校区】 則武(29人)、島(21人)、早田(16人)、城西(14人)、鷺山(8人)、西郷(2人)、岐阜(2人)、その他市内(7人)、無回答(1人)</p> <p>【年齢】 10代(0%)、20代(10%)、30代(67%)、40代(18%)、50代以上(5%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(10%)、ほぼ毎日(1%)、週2～3回(6%)、週1回(15%)、2週に1回(20%)、月1回(27%)、その他(18%)、無回答(3%)</p> <p>【来館相手】 子(89%)、孫(4%)、友人(2%)、その他(4%)、無回答(1%)</p> <p>【子・孫の年齢】 0歳(12%)、1歳(32%)、2歳(15%)、3歳以上(21%)、小学1年(4%)、小学2年(8%)、小学3年(2%)、小学4年(2%)、小学5年(2%)、小学6年(1%)、無回答(1%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(12%)、自転車(2%)、自家用車(86%)、公共交通機関(0%)</p> <p>【何で知った】 ホームページ(40%)、広報紙・チラシ(2%)、学校(7%)、保育所・幼稚園(2%)、知人・友人(22%)、ぎふし子育て応援アプリ(4%)、ソーシャルメディア(1%)、その他(19%)、無回答(3%)</p>

<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(98%)、ほぼ満足(2%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(98%)、ほぼ満足(2%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(94%)、ほぼ満足(5%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%) (利用しやすさ) 満足(80%)、ほぼ満足(13%)、普通(5%)、やや不満(1%)、不満(0%)、無回答(1%) (整理整頓) 満足(85%)、ほぼ満足(10%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%) (清潔感) 満足(80%)、ほぼ満足(14%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%) (換気) 満足(90%)、ほぼ満足(7%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(1%)</p> <p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【学校名】 則武小(51人)、城西小(15人)、島小(13人)、早田小(8人)、岐阜清流中(6人)、鷺山小(2人)、岐阜聖徳学園大学附属小学校(2人)、その他市内(1人)、その他市外(2人)</p> <p>【学年】 小学: 1年(15%)、2年(17%)、3年(8%)、4年(28%)、5年(11%)、6年(9%) 中学: 1年(2%)、2年(3%)、3年(2%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)、無回答(5%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(9%)、毎日(9%)、週4・5回(10%)、週2・3回(20%)、週1回(13%)、その他(35%)、無回答(4%)</p> <p>【来館相手】 ひとり(15%)、友人(35%)、兄弟姉妹(22%)、父母(18%)、祖父母(4%)、親戚(2%)、その他(4%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(23%)、自転車(33%)、自家用車(44%)、バス・電車(0%)、その他(0%)</p> <p>【好きな遊び】 ドッジボール(10%)、バドミントン(7%)、ぬりえ(6%)、カラム(6%)、ボードゲーム(6%)、オセロ(5%)、オセロ(5%)、人生ゲーム(5%)、その他(50%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p><保護者></p> <p>・フリーWiFiお願いします。 →ご意見ありがとうございます。児童センターでは決められないので要望があったことを伝えさせていただきますのでご理解のほどよろしくお願ひいたします。</p> <p>・プリキアのぬり絵がほしい →ご意見ありがとうございます。早急に準備いたしますのでおまちくださいね。 ・事務室にいらっしゃることが多いと思う時間があれば子どもと一緒に遊んだり、親の話し相手になってもらえるとありがたい。 →ご意見ありがとうございます。幼児クラブが無い午前中はクラブや小学生行事などの準備をしておりますので事務室にいたることが多くなっていました。今回のご意見を大切に考えお子様や保護者の方とも時間の限り寄り添えるようにしていきたいと思ひます。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。</p> <p><児童></p> <p>・ちっちゃい子の部屋にいけたら～ →ご意見ありがとうございます。小さい子のお部屋には楽しそうな遊具があるので遊びたい気持はとてもわかります。でもね、赤ちゃんや小さいお友だちが遊んでいるので小学生の子が走り回るととても危ないから入ることができないの。ごめんなさい。図書学習室や遊戯室でみんなが楽しく過ごすことが出来るように楽しい物を増やしていくね。希望があれば職員に教えてくださいね。</p> <p>・ここは神々 →ありがとうございます。これからもみなさんにとって居心地の良い場所になるよう努めて参ります。 ・たのしい。とても楽しくてみんながたのしそう。毎日あそびたいです。 →ありがとうございます。これからも楽しい児童センターでいますね。毎日遊びにきてください、待っています。 ・いろいろなものがあってじょうぶなものがあっていいと思ひました。 →ありがとうございます。これからも楽しい物を増やしていきます。丈夫で楽しい遊具があったら教えてください。</p> <p>・将棋大会 →ご意見ありがとうございます。毎月将棋で遊ぼうという行事を行っておりますのでぜひ参加してくださいね。また先生と相談して将棋大会も考えていきますね。 ・もっと子どもが楽しめるものをふやす →ご意見ありがとうございます。増やしていきます。希望の物があれば教えてくださいね。 ・もうちょっと静かにしてほしい 本を読んだり落ち着きたい人がいるので、静かにするように呼びかけてほしい。 →ご迷惑をおかけしてすみませんでした。夏休みはたくさんの人たちが児童センターに遊びに来てくれたからとても賑やかだったので、静かに過ごしてもらうことが出来なくてごめんなさい。職員が注意し呼びかけていきますのでこれからも遊びに来てくださいね。</p> <p>・人生ゲームのお金をきれいにしてほしい・きれいにつかってほしい →ご迷惑をおかけしてすみませんでした。遊んだ後はきれいに片づけてもらえるよう呼びかけますね。また職員もきれいに整頓するよう心がけます。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>□利用者アンケートの実施(公平性・透明性①)</p> <p>利用者アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none">・実施回数:1回(7月～9月に実施) <p>(内容等記入)</p> <ul style="list-style-type: none">・保護者用(100名) <p>今期も幼児クラブの保護者だけでなく、一般利用者(幼稚園児・保育園児・小学生の保護者など)にもアンケートを実施しました。より多くの利用者からアンケートをいただくことで、幅広い層からさまざまなご意見・ご要望をいただく事ができました。</p> <p>「うちの子は海より山より児童センターが好きです。」「来館するといつも笑顔で出迎えていただきホッとします。ここの児童館が1番好きです。」「入りやすい雰囲気があって有難いです。1年生でも仲間に入れるので一人っ子には子どもさんがたくさんいるところを見せてあげられて嬉しいです。」「図書学習室に未就学児でも入って遊ぶことができるのでとても助かります。遊ばせやすいです。」「となりの部屋でも下の子が遊べるおもちゃもあり、両方遊べるので子どもも楽しそうです。」「など好評の意見を多く頂きました。これからは皆さんに満足して頂ける児童館になるよう務めていきます。またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・児童用(100名) <p>子どもたちのニーズを理解し、より心地よい児童館になるよう多くの子どもたちからアンケートをいただくことができました。その結果子どもたちの気持ちを知ることができました。今回も自由来館で来る子どもたちが何を求めて児童館に来るのか知りたくて「児童館に行きたいと思った理由を教えてください」という項目を入れました。</p> <p>児童館の好きなどころの項目では「いろいろなものがいっぱいあって楽しい児童センターで良かったなあと思いました。」「児童館に行くとか誰か友だちがいるところが好き」「いつでもこれる」「自由にできる」「大人の人がやさしい・遊んでくれる」など、嬉しい感想をいただきました。児童館が友だちと楽しく遊べる場所であり、子どもたちの居場所の1つであることがわかりました。これからは心が解放できる優しく温かい居場所になるよう職員みんなで対応していきたいと思えます。</p> <p>また100名アンケートを取った理由として「悩みを持っている子・SOSを出している子」が言葉で伝えられなくても書くことが出来るかもしれない。そういう子どもを1人でも見つけて救えたらという思いで取りました。</p> <p>またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。</p> <p>□運営委員会の開催(公平性・透明性①)</p> <ul style="list-style-type: none">・実施回数:上半期1回 <p>(内容等記入)</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年度事業報告・令和5年度運営方針・事業内容・校区別交流会・意見・要望等交換会 <p>3年ぶりの開催となりましたが、児童センターの役割を理解していただけた「居場所作りをしていること」「子どもたちを受け入れている姿勢」「岐阜清流中学校との交流」などを評価していただきました。また「お父さん行事」を取り入れて子どもたちと触れ合う機会を増やしてほしいという意見もいただきましたので今後の運営に生かしていきたいと思えます。</p> <p>これからは地域とのネットワークを大切に、子育て環境作り・子どもファーストを進めて行きたいと思えます。</p> <p>□広範で適切な情報提供・広報活動の実施(情報公開、広報の方策②)</p> <ul style="list-style-type: none">・保健センターの日光地区(島・城西・早田・則武)未就園児子育て情報紙に今年度から児童センターの幼児クラブの活動を載せていただけ情報提供ができました。・ジムプレーンからモニターの依頼がありました。日光児童センターのおたよりを使用し、会社のイベントやHPなどに活用されるということでした。今までにない幅広い広報活動になりました。自館から児童センターの情報を発信することはもちろんですが、他社から選んでいただけて依頼があり広報活動の実施ができたことは新たな試みとなりました。・インスタグラムによる広報宣伝活動 <p>今期から新たにタブレット端末を活用したインスタグラムを始めました。このインスタグラムを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。(上半期更新回数61回、フォロワー82人)</p> <ul style="list-style-type: none">・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載・「ツナグテ」のリンク貼り付け <p>ホームページに「ツナグテ」ホームページのリンクを貼り付けました。これにより児童館のホームページを閲覧された方が「ツナグテ」のホームページを閲覧しやすくなりました。</p> <ul style="list-style-type: none">・4地区合同赤ちゃんクラブに参加し児童センターの活動を紹介しました。・城西校区青少年育成市民会議青少年育成部の子ども会行事に参加し、児童センターの活動を紹介しました。・地域コミュニティーセンターniconicoの親子ふれあいに参加し児童センターの活動を紹介しました。・島校区「親子ふれあい教室」に参加し児童センターの活動を紹介しました。・則武校区青少年育成市民会議家庭部会が企画する「親子ふれあい教室」に参加し児童センターの活動を紹介しました。・おたよりの配布(幼稚園・保育園・小学校・中学校・特別支援学校・コミュニティーセンターなど16ヶ所) <p>□業務改善や工夫(効果性③)</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもに1番人気がありリクエストがとて多いドッジボールの回数を増やし行いました。毎日ドッジをボールに参加する子がとて多く、子どもたちが一生懸命児童館に来てくれる姿を見て、子どもらしさ、純粋さを感じました。ドッジボールは子どもの生きがいのように感じ、これからは企画していこうと思えました。4月～9月 14回 小学生-246人・幼児クラブの申し込み期間終了後クラブに参加したい方が見えた場合、定員が空いている限り電話での申し込みもOKとしました。・昨年より幼児クラブの定員数を12人から15人に増やしました。・小学生行事の定員数を増やし、たくさん子どもたちに参加してもらえるようにしました。 <p>夏休み期間中の行事 17回(人気行事は2回×5)参加人数 幼児-8人(夏休みの工作行事は小学生優先) 小学生-240人 中学生-12人 大人-47人 合計307人</p> <p>※令和4年度夏休み行事 行事回数-17回 参加人数-178人</p> <ul style="list-style-type: none">・小学生向けの行事に幼児(0歳～就学児前)も行事に参加したいという声を聞いたので、幼児さんも出来るような行事には参加出来る事をおたよりに書いてお知らせしたので、幼児さんの参加も増えてきました。・小学生行事で定員数が決まっているものでも材料を多めに準備して、当日来館した子どもたちも参加出来るよう対応しました。・英語で遊ぼうの開催(ボランティア) <p>地域に外国人の英語の先生が見えるので、英語をもっと身近に楽しく感じてもらうと企画し開催しました。今期は未就園児・未就学児・小学生と3回に分けて行いました。どの回も好評で楽しい時間が過ごせました。</p> <ul style="list-style-type: none">・サイエンスショーの開催 <p>子どもたちの科学に対する興味・関心を持っていただくため、前岐阜市科学館館長によるマジックサイエンスショーを開催しました。子どもたちに喜んでもらえるように内容をパワーアップしました。中学生ボランティアにアシスタント・お礼の言葉なども担当してもらい盛り上がりがあったことで本人の自信に繋がりました。</p> <ul style="list-style-type: none">・将棋で遊ぼうの開催(ボランティア)
--

今期の取組み
に対する評価

普段の遊びを見ていて、将棋に興味を持っている子が何人もいたので、今年度も地域の方に先生をお願いして、毎月2回将棋を教えて頂きました。今期は小学校2年生の子どもも先生になり子どもたちに将棋を教えてくれました。普段来ていない子や高学年の男子などの参加があり静かに盛り上がりました。

- ・大学生のお兄さんに勉強を教えてもらおうの開催

今年度も子どもたちの学習支援になるよう岐阜大学の学生に月2回勉強を見ていただきました。今期は人数制限なしで行いました。宿題や問題集などを持ってきて教えてもらいました。

- ・夏休み企画うちわ作り(母親クラブ)

毎年恒例となりましたが、母親クラブの企画で今年もうちわ作りを開催しました。昨年よりうちわを大きくしたり、飾りや物を増やしたり、家から持参してもらったりしました。今回もたくさんの子どもの参加があり盛況でした。

□新規事業(行事)等の実施(効果性③)

- ・マジックショーの開催

岐阜清流中学校の先生に講師を依頼。マジックを見て楽しむことはもちろん、マジック教室もありマジックを教えて頂け子どもたちはとても喜んでいました。

- ・岐阜清流中学校との交流

3年生の技術・家庭科の学習の一環として、幼児とのふれあい活動を通して幼児への理解を深める。ということから1クラスごと幼児クラブに参加をしていただきました(全5クラスと校内フリースペースの子どもたち)親子との交流を楽しみ、両方にとっても貴重な体験になりました。

- ・みんなで楽しく体を動かそうの開催(母親クラブ共催)

地域に在るはなその幼稚園の人気体育教諭に講師を依頼。日光コミュニティーセンター2F大集会室で「運動・レクリエーション」を開催しました。対象は小学校1年生～3年生定員30人、人気講師ということもあり朝から続々と申し込みがあり、午前中には定員になり締め切りしました。その後も問い合わせが多数ありました。先生は子どもの心を掴むことがとても上手く心から楽しんで子どもたちと接して見え人気があることがわかりました。子どもたちも生き生きとしていてそれを見ている保護者の方たちは笑顔いっぱいでした。申し込みが出来なかった子ども・保護者からもう1度企画してほしいという声が多くありましたので先生にお願いし検討していただいています。

- ・子どもたちに大人気のプラズマカーを2台購入しました。幼児から大人まで乗れることや誰でも簡単に運転が出来る楽しさで大人気となり、プラズマカーを目当てに遊びに見える幼児や小学生が増えました。中学生にも人気があり、校内フリースペースの児童なども楽しく使用しています。
- ・毎月1回自由に遊べるコーナーを始めました。(コーナー遊び2回、手形、水遊び)
- ・ボランティアと遊ぼうの開催

日光児童センターに来ている大人ボランティアの方たち・中学生ボランティアと「ボーリングで遊ぼう・2回」「アイロンピーズのストラップ作り」を企画し開催しました。幼児・小学生などたくさんの人が参加されました。

◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。

- ・今回のマジックショーには中学生ボランティア4人の参加がありました。事前の先生との話し合いで「彼ら彼女らがやりたい気持ちを第一に考え、達成感を感じてほしいので一緒にやりましょう」と受け入れてもらえました。司会・アシスタント・ディアポロショーなどを一緒に出来ることになり先生と打ち合わせをしたり、日頃から練習に励んだり彼女らの方のやる気が見られました。当日はたくさんの方の前で自信を持って演じていました。配慮を必要とする子どもたちが自分たちからやりたい気持ちを伝えることが出来、たくさんの方に認められた経験はとても貴重な時間となりました。これからたくさんの子どものためにこのような機会を与えることが出来るように子どもたちを見守っていきたくと思います。
- ・ボランティアと遊ぼうは計画から取組み、自分出来ること・やりたいことなどを意見し、大人ボランティアと一緒に内容を企画しました。準備、後片付けも全てボランティアで行い主体的な活動の場になりました。
- ・「サイエンスショー」「みんなで楽しく体を動かそう」「英語で遊ぼう」「うちわ作り」には中学生ボランティアが参加し子どもたちの補助や準備後片付けまで主体的に行ってくれました。
- ・日頃から児童センターのボランティアに主体的に来てくれる中学生が2名います。

4月～8月の期間 児童センターの消毒・清掃・子どもの遊び相手ー46回(1名)13回(1名)
また行事にかかわるスタッフボランティアー7回(1名)2回(1名)

この2人のことを校長先生にお話ししたところ学校表彰をしていただけになりました。始業式で表彰してもらえたことで自信に繋がりが、他のボランティアにも興味を持つことが出来ました。

今後はCVS登録証に記載し表彰に向け申請していく方向で学校と検討しているところです。

□利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映(効果性④)

- ・2歳児の体を動かせるものがあるといい。トランポリンやすべり台など

→ご意見ありがとうございます。すべり台は幼児室にあるお城についておりますのでそちらをご利用いただけられたとしても嬉しいです。トランポリンは危険ということで児童館・児童センターには置かないことになっております。部屋があまり広くないため大きな遊具を置くことが出来なくて申し訳ございません。遊戯室はボールやプラズマカーなどで遊ぶことが出来ますので是非ご利用ください。ご理解のほどよろしくお願い致します。

- ・新しいプリキュアのぬり絵がほしい

→ご意見ありがとうございます。早急に準備いたしますのでおまちくださいね。

- ・事務室にいらっしゃることが多いと思う時間があれば子どもと一緒に遊んだり、親の話し相手になってもらえるとありがたい。

→ご意見ありがとうございます。幼児クラブが無い午前中はクラブや小学生行事などの準備をしておりますので事務室にいたることが多くなってまいりました。今回のご意見を大切に考えお子様や保護者の方々とも時間のある限り寄り添えるようにしていきたいと思っております。ご理解のほどよろしくお願い致します。

- ・ちっちゃい子の部屋にいたらな～

→ご意見ありがとうございます。小さい子のお部屋には楽しそうな遊具があるので遊びたい気持ちはとてもわかります。でもね、赤ちゃんや小さいお友だちが遊んでいるので小学生の子が走り回るととても危ないから入ることができないの。ごめんさい。図書学習室や遊戯室でみんなが楽しく過ごすことが出来るように楽しい物を増やしていくね。希望があれば職員に教えてくださいね。

- ・月(月曜日がお休みという意味)がない

→ご意見ありがとうございます。月曜日は児童センターのお休みの日となっているのでごめんさい。でも児童センターが大好きなんだな～と思うととても嬉しく思います。いつも遊びに来てくれてありがとう。

- ・うるさい、静かにしてほしい、本を読んだり落ち着きたい人がいるので静かにするようによびかけてほしい。

→ご迷惑をおかけしてすみませんでした。夏休みはたくさんの方々が児童センターに遊びに来てくれたからとても賑やかだったので静かに過ごしてもらうことが出来なくてごめんさい。職員が注意し呼びかけていきますのでこれからも遊びに来てくださいね。

- ・利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、館の運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。

また、実行できないものについては実行できない理由を説明し、ご理解をいただけるよう務めました。

◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか。

- ・岐阜市の中学校5校に不登校支援として「校内フリースペース整備」が実施されることになり、日光児童センターをフリースペースの1つとして活用してもらうことになりました。

この居場所作りについて岐阜市教育委員会との協議に出席をさせていただきました。児童館も不登校児・生徒の居場所の

1つとして活用できるような仕組みが作れないか？居場所の提供・学校との情報共有などの取り組みの実現に向け協議しました。結果5校のうち4校に近接する児童館が事業団が指定管理を実施しているところなので「フリースペース」として活用出来るようになりました。

4月から担当教諭と生徒が児童センターを活用し体育の授業を実施しています。

バドミントン・バレーボール・卓球などを行っています。

・夏休み中、気になる子どもたちや、配慮が必要な子どもたちの様子など必要な時は則武小・早田小・清流中の校長先生と携帯電話やメールで連絡を取り合い対応しました。

・事務室が安心できる場所になっている子たちがいるので事務室をコミュニケーションスペースとしています。安心できるのか子どもたちは家・学校・友だちの事などを話してくれます。気になる話がある場合はノートに記録しています。

・進路相談・恋愛相談・親の相談をしに児童センターに来てくれます。

これからも子どもたちを見守り、応援できる児童センターであり続けていけるよう努めていきます。

・今後も配慮を要する子どもたちを長期的に見てその子が成長出来るように職員は今以上に意識して子どもたちを支援していきます。

・他施設の事例研究

当事業団が管理する児童館・児童センター9館の所長会で、他施設で実際に起きた事例を研究し、配慮を必要とする子どもの利用を頂いた際、どの施設でも適切に対応できるようにしました。

□利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥)

・Instagramによる広報宣伝活動(再掲)

今期から新たにタブレット端末を活用したInstagramを始めました。このInstagramを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。(上半期更新回数61回、フォロワー82人)

・幼児クラブ申し込み連携

登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。

・今回も自由来館で来る子どもたちが何を求めて児童館に来るのかわかりたくて「児童館に行きたいと思った理由を教えてください」という項目を入れ子どもたちの気持ちに寄り添えるよう取り組みました。

・保護者の方たちに遊べる施設を少しでも知ってほしいという思いから、岐阜市内の全ての児童館の所在地を地図上で記載し幼児室の掲示板に貼りだしました。

・子どもたちに大人気のプラズマカーを2台購入しました。幼児から大人まで乗れることや誰でも簡単に運転が出来る楽しさで大人気となり、プラズマカーを目当てに遊びに見える幼児や小学生が増えました。中学生にも人気があり、校内フリースペースの児童なども楽しく使用していました。(再掲)

・幼児クラブの申し込み期間終了後クラブに参加したい方が見えた場合は電話での申し込みもOKとしました。(再掲)

・昨年より幼児クラブの定員数を12人から15人に増やしました。(再掲)

・毎月1回自由に遊べるコーナーを始めました。(コーナー遊び2回、手形、水遊び)(再掲)

・小学生行事の定員数を増やし、たくさんの子どもたちに参加してもらえるようにしました。(再掲)

夏休み期間中の行事 17回(人気行事は2回×5)参加人数 幼児-8人(夏休みの工作行事は小学生優先) 小学生-240人 中学生-12人 大人-47人 合計307人

※令和4年度夏休み行事 行事回数-17回 参加人数-178人

・子どもに1番人気がありリクエストがとて多いドッジボールの回数を増やし行いました。毎日ドッジをボールに参加する子がとて多く、子どもたちが一生懸命児童館に来てくれる姿を見て、子どもらしさ、純粋さを感じました。ドッジボールは子どもの生きがいのようにも感じ、これからも企画していこうと思いました。

4月~9月 14回 小学生-246人(再掲)

・当日も団体利用の方たちを快く受け入れています。とても喜ばれました。

□職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加(安定性安全性⑫)

・子ども支援課から依頼があり、社会福祉の資格を取得するため岐阜市役所に来て見える実習生の方たちに児童館の在り方・魅力などを伝えさせていただきました。実習生の方たちがとても意欲的で質疑も多く一生懸命な気持ちが伝わりました。

・虐待防止研修会の開催

5月:岐阜県警察本部生活安全部少年課少年サポートセンター職員・ドリームシアター岐阜共催

6月:アフターケア相談所ゆずりは代表高橋亜美氏(児童養護施設や自立支援施設の退所者を対象に相談を行う施設の代表)

・普通救命講習(6月:岐阜市消防本部・岐阜中消防署員)

・熱中症対策研修会(6月:事務局・岐阜市南保健センター職員)

・職員スキルアップ研修会(6月~1月、6回開催予定、上半期は3回開催)各児童館・児童センター職員1名以上が参加

6月:幼児向けメニュー(工作除く)サンフレンドみわ 10名参加

7月:幼児向け工作メニュー サンフレンドうずら 9名参加

9月:小学生向けメニュー(工作除く)柳津児童館 9名参加

・学研2023夏の講習会(オンライン) 20名受講(ケロボンズ・新沢としひこ)

地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭)

「校内フリースペース」(再掲)

・岐阜市の中学校5校に不登校支援として「校内フリースペース整備」が実施されることになり、日光児童センターをフリースペースの1つとして活用してもらうことにしました。この居場所作りについて岐阜市教育委員会との協議に出席をさせていただきました。児童館も不登校児・生徒の居場所の1つとして活用できるような仕組みが作れないか？居場所の提供・学校との情報共有などの取り組みの実現に向け協議しました。結果5校のうち4校に近接する児童館が事業団が指定管理を実施しているところなので「フリースペース」として活用出来るようになりました。4月から担当教諭の方と生徒が児童センターを活用し体育の授業を実施しています。

「情報交流①」(再掲)

・則武小学校・早田小学校・岐阜清流中学校の校長先生と配慮を必要とする子どもや気になる子どもの情報共有をしました。夏季休暇中は携帯やメールで連絡を取り合いました。

「情報交流②」(再掲)

・岐阜清流中学校・則武小学校のスクールカウンセラーと配慮を要する児童の情報交流をしました。直接会えない時は配慮を要する子どもたちをサポートできるよう電話・ラインなどで行いました。

「団体利用①」(再掲)

・放課後デイサービス「ココアキッズ」の団体利用がありました。遊びに行くところがなくて困ってみえたようで「受け入れてもらえて嬉しい」と喜んでいただけました。(上半期2回)

「団体利用②」(再掲)

・GIFUシングルマザー&ファザーのホットサロンが隣接するコミュニティーセンターで行われました。子どもたちはひとり親cheersの方たちが児童館を利用し預かってみえました。(上半期3回)子どもたちに関係するいろんな団体の方に利用していただけて児童センターを知ってもらえ児童館の役割も広がるように思いました。

地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)(貢献性⑮)

	<p>・子ども110番の家の登録 子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。 夏休み中に一人で留守番をしていた児童が「窓に人影が見え恐ろしく児童センターを思い出し逃げてきた。」と言い来館。親に連絡を取り無事に解決に至りました。 子ども110番の役割が果たせました。</p> <p>・岐阜版アダプトプログラムへの参加 職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的に実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。</p> <p>地域の団体・住民との協働事業等の実施(貢献性⑤)</p> <p>・白山小学校PTAより依頼があり移動児童館を行いました。近隣の児童館2館に依頼したが都合が合わなかったため日光に依頼がありました。エリアを超えた移動児童館に参加でき新しい試みになりました。</p> <p>・城西校区青少年育成市民会議少年育成部の子ども会行事に初めて参加し、遊びなどの指導をしました。</p> <p>・地域コミュニティセンター-niconicoの親子ふれあいに参加し親子ふれあい遊びや工作などを行いました。</p> <p>・島校区「親子ふれあい教室」に参加し親子ふれあい遊びや工作などを行いました。</p> <p>・則武校区青少年育成市民会議家庭部会が企画する「親子ふれあい教室」に参加し親子ふれあい遊びや工作などを行いました。</p> <p>・主任児童委員主催の4校区(則武・早田・城西・島)赤ちゃんクラブに移動児童館として参加しふれあい遊びなどを行いました。</p> <p>・島公民館講座「親子ふれあい」に移動児童館として参加し親子ふれあい遊びや工作などを行いました。</p> <p>・マジックショーの開催(再掲)</p> <p>岐阜清流中学校の先生に講師を依頼。マジックを見て楽しむことはもちろん、マジック教室もありマジックを教えて頂け子どもたちはとても喜んでいました。</p> <p>今回のマジックショーには中学生ボランティア4人の参加がありました。事前の先生との話し合いで「彼ら彼女らがやりたい気持ちを第一に考え、達成感を感じてほしいので一緒にやりましょう」と受け入れてもらえました。司会・アシスタント・ディアボロショーなどを一緒に出来ることになり先生と打ち合わせをしたり、日頃から練習に励んだり彼ら彼女らのやる気が見られました。当日はたくさんの人の前で自信を持って演じていました。配慮を必要とする子どもたちが自分たちからやりたい気持ちを伝えることが出来、たくさんの方に認められた経験はとても貴重な時間となりました。これからたくさんのお子どもたちにこのような機会を与えることが出来るように子どもたちを見守っていきたくと思います。</p> <p>・岐阜清流中学校との交流(再掲)</p> <p>3年生の技術・家庭科の学習の一環として、幼児とのふれあい活動を通して幼児への理解を深める。ということから1クラスごと幼児クラブに参加しました(全5クラスと校内フリースペースの子どもたち)親子との交流を楽しみ、両方にとってとても貴重な体験になりました。</p> <p>・みんなで楽しく体を動かそう(母親クラブ共催)(再掲)</p> <p>地域に在るはなぞの幼稚園の人気体育教諭に講師を依頼。日光コミュニティセンター2F大集会室で「運動・レクリエーション」を開催しました。対象は小学校1年生～3年生定員30人、人気講師ということもあり朝から続々と申し込みがあり、午前中には定員になり締め切りしました。その後も問い合わせが多数ありました。先生は子どもの心を掴むことがとても上手く心から楽しんで子どもたちと接して見え人気があることがわかりました。子どもたちも生き生きとしていてそれを見ている保護者の方たちは笑顔いっぱいでした。申し込みが出来なかった子ども・保護者からもう1度企画してほしいという声が多かったですので先生にお願いし検討していただいています。</p> <p>・英語で遊ぼうの開催(ボランティア)(再掲)</p> <p>地域に外国人の英語の先生が見えるので、英語をもっと身近に楽しく感じてもらうと企画し開催しました。今期は未就園児・未就学児・小学生と3回に分けて行いました。どの回も好評で楽しい時間が過ごせました。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>□保護者、児童ともに80人を超える利用者からアンケートを回収し、アンケートの項目についても見直しを行うなど、より幅広く効果的に利用者の意見を聞き取る取り組みを実施している。</p> <p>・今期も保護者、児童ともに100人の利用者の方からより多くのアンケートを頂くことで、幅広い層から様々なご意見・ご要望を頂く事ができました。今期も子どもたちに「児童館に行きたいと思った理由を教えてください。」という項目を入れ、子どもたちの気持ちをより理解出来るようにしました。好きなところの項目には「いつでもこられる」「自由にできる」「大人の人がやさしい」など好評な感想をいただくことができました。また貴重なご意見はこれからの事業に反映させていきたいと思ひます。</p> <p>□ミニはるまつりを開催したり、新規講座を多数実施したりするなど、積極的に業務改善や新規事業の実施に努めている。</p> <p>□母親クラブと共催で事業を実施したり、地域の住民に講師を依頼し、様々な講座を開催するなど、地域との連携に努めている。</p> <p>・今期も「ボランティア行事」「地域の方に講師を依頼」「母親クラブとの共催行事」など多数の新規事業を開催することができました。また、人気行事はそのまま継続し利用者増になるよう取り組みました。今後も地域との連携に力を入れていきたいと思ひます。</p> <p>□不登校の子など、利用者が安心して職員に相談ができる雰囲気づくりができています。</p> <p>・岐阜市の中学校5校に不登校支援として「校内フリースペース整備」が実施されることになり、日光児童センターをフリースペースの1つとして活用してもらうことになりました。</p> <p>・事務室が安心できる場所になっている子たちがいるので事務室をコミュニケーションスペースとしています。安心できるのか子どもたちは家・学校・友だちの事などを話してくれます。気になる話がある場合はノートに記録しています。</p> <p>・進路相談・恋愛相談・親の相談をしに児童センターに来てくれます。</p> <p>今後も誰もが安心して利用できる児童センターを目指していきます。</p>

<p>今後の取組み</p>	<p>□居場所作り ・配慮を必要とする児童を受け止め、支援の一端を担っていきます。自立を目指せるような対応や環境作り、周囲との連携を固め居場所や安心感のある児童館を目指します。また、各種関係機関との繋がりを強め、体制を強化していきます。</p> <p>□地域を大事にした活動を進める ・現在も母親クラブの方々が子どもたちの活動の企画・準備・運営をしてくださっています。来期も子どもたちのために何かをしてあげたいという地域の方々が児童館で活動できるよう支援をしていきます。</p> <p>□初めて来館した母親への支援を重視する ・今の世代の母親や家族に合った子育てに関する情報を職員が勉強しておき、0歳から就園に至るまで長期的に利用してもらえるような支援を目指します。</p> <p>□ボランティア ・子どもが自主的にお手伝いなどをやりたいという気持ちを受け止め尊重することを日常的に取組み、主体的に施設運営に携わっているという意識が持てるように取り組んでいきます。</p> <p>□児童館の情報発信の充実 ・児童館を周知できるように今以上にコンテンツを増やしていきます。また児童館に行ってみたいといったニーズを生み出す震源地になるような、企画を発信できるようにしていきます。</p> <p>□学習支援 ・勉強が苦手・不登校・不登校気味・塾に通えない等さまざまな理由で勉強に対しての意欲がない児童が増えています。でも高校には行きたいという思いはありますのでその気持ちに寄り添っていきたいと思います。今期も大学の学生に依頼し勉強を見てもらう行事を実施します。行事だけでなく子どもたちが目標をもてるような学習支援の在り方を考え取り組んで行きたいと思います。</p> <p>□職員研修会の充実 ・今期も職員スキルアップ研修会を充実させ、幼児向け・小学生向け工作や遊びのメニュー講座などを開催し、職員の事業実施力の向上に努めます。 また、外部講師による研修会、虐待防止研修会を開催し、リスク対応力を強化します。</p> <p>□広報宣伝活動の強化 ・新たに、Instagramによる広報宣伝活動を開始し、特に乳幼児を持つお母さん方への広報宣伝活動を強化します。</p>
---------------	--

●所管課の意見

- アンケートを保護者・児童ともに100人を超える利用者から回収し、またクラブ参加者だけでなく一般来館の利用者からも多くアンケートを回収するなど、幅広く利用者の声を聞くことができるよう努めている。
- 近隣の幼稚園や中学校の先生に講師を依頼し、新規事業を実施するなど、積極的に新規事業を取り入れている。
- 近隣の学校と連携して、児童センターをフリースペースとして利用できるようにし、子どもたちの居場所となるよう努めている。

●指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。
 校内フリースペースを用意し、清流中の学校に行きづらい子が先生と利用できる場所を提供していることは評価できる。
 今後も継続していただきたい。